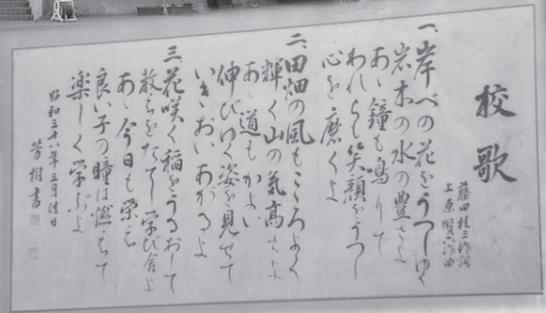


# 87人の花が咲いた豊川小 さようなら……



平成21年4月に繁田小学校、下繁田小学校と統合し稲垣小学校に生まれ変わる現在の豊川小学校

平成21年4月の統合小学校開校に伴い豊川小学校で10月25日、全校児童87人をはじめ歴代校長や地域住民ら200人が出席して閉校式が行われ、134年の歴史に幕を閉じました。同校は1874(明治7)年8月に沼崎小学校として創立し、1947(昭和22)年に校名を豊川小学校に改称。1974(昭和49)年に創立100周年を迎え、2001(平成13)年に現在の校舎が完成し、これまでに6,300人を超える卒業生を送り出しています。式典では、福島市長が「本校で学んだことを生涯の誇りとして来年4月に開校する稲垣小学校へ受け継ぎ、かけがえのない新しい時代を大勢の児童と歩んでください」と式辞を述べ、坂本正幸校長が「充実した教育活動が展開できたのは、地域ぐるみ、学校ぐるみで取り組んできた証です。ここに学び、ここに集った人々の心と力を今後引き継いでいきたいと思います。また、児童による別れの言葉では、呼び掛け形式で一人ひとりが学校生活の思い出を発表。出席者全員で校歌を合唱し、閉校を惜しみながら新たな希望と夢を胸に抱いていました。



たゆまざる  
歩みが続けて

坂本正幸 校長

私は平成19年4月に第31代目校長として豊川小学校に勤務しました。豊川地区は子どもたちの教育環境を充実させるため、地域住民が総力を上げて取り組んでいる地域です。本校は明治7年に沼崎小学校として創立して以来、「誠実」「勤勉」「清潔」の校訓のもと、スポーツ面では昭和50年代からバレーボールが活発になり、昭和63年に小学生バレーボール全国大会で女子が優勝、男子が準優勝。平成に入ってから全国大会の常連校として伝統を受け継いでいます。また、文化面では、長年にわたり読書活動に力を入れた実績が認められて平成12年に文部省から読書活動優良実践校としての表彰を受けました。輝かしい歴史と伝統を誇る我が豊川小学校が、今年度で134年の歴史に幕を閉じることはとても残念なことです。近年の少子化によって来年度から繁田小学校、下繁田小学校と統合し、新たに「稲垣小学校」として生まれ変わります。私たち教職員が地域、保護者と一丸となって新たな学校に歴史を刻み、教育実践を積み重ねて歩み始めなければいけません。



## 閉校にあたって

PTA会長 秋元智賀雄さん  
(昭和51年度卒業)

閉校の年に最後のPTA会長を務めることになり、いままで諸先輩方が築き上げた伝統を引き継ぎながら、閉校に向けた準備を進めなければいけないとあって、忙しい日々を過ごしました。一昨年からソフトボール部に関わるようになり、子どもたちに練習をつけたり、大会ではベンチに入り指示を出しています。先生方や保護者たちの熱心な指導のお陰で数々の優勝が出来る、いい思い出

がつくれました。統合によってソフトボール部員が増え、いままで以上の成績を残せるのでは：かすかな期待を抱いているのが本音ですかね。

来年の春には、3校(豊川小、繁田小、下繁田小)の子どもたちが一つ屋根の下で学校生活を過ごす訳ですが、子どもたちに望む事は、良いこと、悪いことの見極めがしっかり出来、自己責任がとれる人間になってほしい。失敗を恐れず、たとえ失敗してもそれを肥やしにして目標に向かって努力してほしいと思います。



## あの頃の思い出

蝦名恵藏さん  
(昭和33年度卒業)

私は昭和28年度に入学し、84人の仲間たちと33年度に卒業しました。当時は子どもたちが学校に就学前の自分の弟妹を連れて来て、子守をしながら授業を受けたものです。

農繁期には田植え休みや稲刈り休みがあつて、ほとんどの子どもは田んぼに行き親の手伝いをしていました。運動会には、当時としてはとても貴重な生卵を親に飲ませて

もらい、1位を目指して走った事を覚えています。また、校舎は木造であったため、講堂の床磨き掃除は油雑巾を足で踏み、仲間たちと競争しながらピカピカに磨きました。

印象に残っていることと言えば、校庭にはたくさんさんのポプラの木が植えてあり、木登りや野球をした時のホームランの目印などにして遊んでいましたが、昭和29年の創立80周年の時に切られてしまい、ちよつと寂しい記憶として残っています。

現在は商店を営んでいる関係で、昔の仲間や恩師に合う度、当時の事を思い出したりします。



心をひとつにして出席者の前で校歌を合唱する87人の児童